

来年の6月8日（土）に、時宗総本山より時宗法主猊下じしゅうほっすげいかがこの神戸の地に約半世紀ぶりにご親教に来ていただけます。その法要で行われる行事・ご回向のご説明第2回は、総本山御手許過去帳入りおてもとかこちょういです。

## 過去帳入り（かこちょういり）のすすめ

### 1、過去帳とは、

皆様をご存知の『過去帳』とは、お仏壇の中でお祀りしている「ご先祖様の戒名・忌日・行年等が書かれた経開き形式の帳面」だと思えます。それと同じ形式のものがお寺にもあり、その中にはお檀家様のご先祖様の詳細が記載されています。

### 2、総本山『御手許過去帳』とは、

では、『総本山御手許過去帳』とは何かといえますと、時宗遊行上人（じしゅうゆぎょうしょうにん）の身近にいつも携えられている（右赤枠・矢印先にある黒い箱の中に携行）過去帳のことです。

この過去帳は、鎌倉時代後期に遊行（＝全国を徒歩で布教される旅のこと）を始められた時宗宗祖一遍上人在世中、その同行する仲間達（時衆という）が旅先で亡くなった際に、名を書き留められたことから始まりました。その最初の御手許過去帳もこの平成の世に現存しており、**国の重要文化財**となっております。

代々のお上人により書き継がれてきたこの過去帳は、近世になると旅先で亡くなる者も少なくなりいつのころから遊行先の末寺で、檀信徒からの希望があった際に記帳していただけるようになり、今も毎朝、遊行上人（現在は第74代真円上人）よりお念仏をいただいております。



### 3、総本山『御手許過去帳』入りのすすめ

この「過去帳入り」をされると、末永く時宗総本山にて毎朝お念仏をいただき、追善供養することができます。私も総本山での修行中に、朝5時からの晨朝（じんじょう）勤行にてお念仏させてい

ただいたことを思い出します。特に、後継がおられないお家の施主様にお勧めしたいお供養です。また他宗旨・宗派のお家のご精霊でもお申し込みいただけますので、特に母方系のご先祖様で、いまでお供養先がみつからなかった方にもお勧め致します。

「故人様のお戒名」でも、「先祖代々の諸精霊」のどちらでも構いません。一人でも多くの人々が仏心(ぶっしん)・仏性(ぶっしょう)に目覚めるための「過去帳入り」に縁を結ばれますよう、切にお勧め申し上げます。

■ ご親教総本山過去帳入りを申し込まれる方には、以下のお印をお授け致します

- ・時宗総本山より御仏壇用『名号(南無阿弥陀仏)』掛軸を授かります。
- ・ご親教過去帳入法要にて、時宗法主猊下ご導師よりお念仏をいただけます。
  - 過去帳入法要は6月8日の午前中に薬仙寺本堂でお勤めされます。
- ・ご親教を記念して作成する普照院本尊須弥壇に、施主名を記入します。

(\*申し込みの詳細は、本年11月頃に送付させていただきます。)

## ドラマ「赤い霊柩車」(フジテレビ系列)撮影隊が、お隣のお寺に来ました。



今夏7月末に、お隣の薬仙寺でTVドラマの撮影が行われました。左写真は、主演の片平なぎささんの演技中の一コマです。今秋中旬ごろに前後編に分けて放映されるそうですが、私もお坊さんの役で(多分後姿だけ...)出演させていただきました。普照院の大黒(住職の家内)や子供たちもエキストラとして映っているかもしれません。もし宜しければご覧下さいね。

[他出演:神田正輝・大村崑・若林豪等(敬称略)]

(\*番組の設定では兵庫県たつの市にあるお寺ということになっています。)

[編集後記]

7月中旬に神戸で上映された映画「一遍上人」をご覧になった方々、ご感想はいかがだったでしょうか。内容はともあれ、時宗という宗旨に光を当てていただいた秋原北胤監督には感謝したいと思います。さて、お彼岸が終わるともう年末です。1年は早いですね。

合掌

発行; [時宗 慈光山 普照院]

責任者 小田義宗

☎652-0853 神戸市兵庫区今出在家町4-1-29

電話・ファックス 078-671-1787

ホームページ <http://fusyojin.com/>



ぜひ、お寺のホームページもご覧ください。

特に次世代をになう、若い方々・お子様たちにも教えてあげて下さい。